

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。平成 29 年(2017 年)の年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年は、当社の関係する地域において、多くの災害が起きた一年でした。1月に九州を襲った寒波により、大牟田市がかつてない被害に見舞われ、4月の熊本地震では多くの方々が甚大な被害を受けられました。そして年末には、糸魚川市において発生した火災が、折からの強風に煽られて約 150 棟に延焼し、大規模な災害となりました。

被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げますとともに、早期の復旧復興と、今年こそ、皆さまにとって穏やかな一年となることを願っています。

当社は昨年、企業理念「The Denka Value」を制定し、次の 100 年の飛躍に向けて歩み始めています。“化学の未知なる可能性に挑戦し、新たな価値を創造（つくる）ことで、社会発展に貢献する企業となる。”を「Denka の使命」とし、この使命を実現するために、心の指針として立ち返るための「Denka の行動指針」を定めました。「The Denka Value」は、全ての事業活動における最上位に位置する基本的価値観として、これからも企業として成長していくために大切にしていまいります。そして私たちは、社会からの信頼と共感を得、経営の透明性と健全性を確保するために、コーポレートガバナンスの強化に取り組んでおります。適切な情報発信とステークホルダーの皆さんとの対話を積極的に進め、企業価値の向上に取り組んでいきます。

当社は昨年 11 月に、2016 年度の業績予想を下方修正いたしました。為替や原料価格などの外部環境に影響されにくい事業構造を目指していますが、未だ途上にあります。事業ポートフォリオを変革し、スペシャリティ化による付加価値を高める取り組みを進めています。大きな成長を期待する健康関連分野においては、「予防と診断」という当社が強みをもつ領域に加え、がん治療薬、がん診断情報提供サービスなどの事業を育成しています。

自動車分野においても、環境対応車や自動運転技術などのトレンドに対応し、LiB 関連や放熱などのコア技術を活かした新事業を創出していきます。

昨年秋に「パリ協定」が発効したことで、わが国政府と産業界は、これまで以上に踏み込んだ環境保全活動が求められています。世界の化学工業は、化学品のライフサイクルにおける「環境・健康・安全」の確保に努めています。当社は、人々の生活の質の向上を目指すとともに、地球環境保全と持続可能な発展に貢献していきます。そして、製造現場における「安全最優先」に向けた取り組みを徹底します。

デンカの未来は、一人ひとりの活躍によって切り開かれます。全社で取り組む「業務プロセス改革」を通じて、業務の本質の追求と無駄を排除するとともに、働き方の改革やワークライフバランスを追求しています。企業としての持続的発展を目指して、自由闊達に意見を交わし、多様な意見や考え方がより反映される企業風土を、作り上げていきたいと思っております。

平成 29 年 1 月 1 日

デンカ株式会社
代表取締役社長 吉高紳介